

住民説明会結果表（質疑応答を中心に）	
開催日時	平成21年9月13日（日） 10:00～11:30
会場	西尾市役所 51会議室
来場者数	150人
質 疑 応 答 の 要 旨	
Q	私は一色町の住民であるが、合併すると住民税はあがるのか。
A	市民税、住民税は地方税という法律で定められており、変わらない。
Q	住民投票は実施するのか。先に合併をした市で失敗した例はどうか。地方債は各市・町どの程度であるか。返済はどのようにしていくのか。
A	住民説明会を1市3町合同にて19会場で実施しており、皆様の意見を伺っている。説明会終了後に住民アンケート調査を実施していく。アンケート調査ではどのような街づくりを望まれるか、反対の方はどのような意見かなど、多角的に分析していきたい。賛否のみを問う住民投票は実施しない。県内の合併事例については視察をし研究を進めている。 地方債については西尾市で224億円、3町で140億円であり、合併協議会立ち上げ後、新市の基本計画を策定する中で返済方法も検討していく。
Q	現在3町は地方交付税を受けているが、合併すると交付税はなくなる。これで1市3町は良くなるのか。退職組合からの脱退で10億円、電算システムの統一で11億円必要である。なぜ説明しないのか。
A	合併すると最初の5年間は満額、その後の5年間は半額の交付が受けられる。3町は退職手当組合に加入しており、脱退時には5億円の返済が必要であるが、西尾市が払うべきものでないと考える。電算システムについては現在研究中であり、システムの統合に11億円が必要と試算されるが1市3町の負担と考えている。
Q	合併のデメリットについてもっと詳細な説明がほしい。体が不自由であり、ごみ収集一つとっても不安が残る。高齢者対策についてもサービス内容の充実が図ってもらえるのか。
A	現在1市3町には事務事業として2,200～2,400あり、事務事業のすり合わせを実施している。今後1市3町の担当者レベルで事務事業の検討を進めていく。
Q	住民意向アンケート調査は全員を対象に実施するのか。
A	1市3町で18歳以上の方5%にあたる7,000人を対象として実施していく。統計学ではサンプル結果が1,000人以上あれば95%以上の意向が判断でき

るとされている。

Q：住民アンケート結果で反対が多いときは合併はやめるのか。

A：少子高齢化に備え合併は必要と考える。反対者の多い地区には説明に伺いたい。

Q：なぜ今この時期に合併なのか。少子高齢化が進むというが、借金はどのように返済していくのか。

A：364億円の地方債の返済については、合併することによる職員・特別職の削減等によるスケールメリットを活用していきたい。この地域の合併については遅いと考えている。

Q：地方交付税については平成21年3月までに合併をした場合の特例ときいているが。

A：合併新法は何度も延伸されている。今後の国の動向を見ていきたい。

Q：給料の基準はどこにもっていくのか。議員の削減はどのようになるのか。

一色町には佐久島がある。今は一色町からしかいけないが、吉良町からも船が出るようにしたらどうか。

A：給料について先進地の事例では、現在の給料に合わせる事例が多い。西尾幡豆のグランドデザインを考える中で1市3町の活性化を考えていきたい。特別職38人のうち議員34名については、1市3町の中から34名を選んでいただくことになる。

Q：今の時期、合併を急がなくても、政府の施策をみた後の合併で良いのではないか。

A：仕事は先延ばしするのではなく、その場で一つひとつ対処していくことが大切と考える。

Q：市長が合併により、有能な職員を集めたいと言われたが、説明では合併により職員を削減するとあったが、相違していないか。

A：合併してすぐ職員を削減するのではなく、10年計画で適正な職員規模としていきたい。

Q：合併については積極的に説明して行ってほしい。合併に対する機運を高めていくことが大切と思う。18歳未満の子供たちにも今後何らかの説明をしてもらいたい。